

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)蓼川コミュニティ供用施設	階数	地上2F
建設地	神奈川県綾瀬市蓼川2丁目1番12号 地内	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	210 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,848 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年2月22日
敷地面積	856 m ²	作成者	(株)タック都市開発研究所
建築面積	397 m ²	確認日	2023年2月23日
延床面積	749 m ²	確認者	(株)タック都市開発研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 子供から高齢者までさまざまな世代が、より活発に文化的な活動をする地域拠点の場となるよう設計した。親しみや安らぎを感じる内外装とし、間仕切りを使って多目的な活動に対応できるホールを設けた。		その他 特記無し。
Q1 室内環境 窓は複層ガラスとし、Low-eガラスを採用した。また外皮の断熱材を厚み50mmにしてZEBReadyの省エネ性能を達成した。仕上げ及び下地材はF☆☆☆☆とし、シックハウス対策に配慮した。	Q2 サービス性能 公民館として、地域住民のさまざまな人が利用できるよう、バリアフリーに配慮した。エレベーターを設置し、車いす利用者が館内利用できるようにした。	Q3 室外環境(敷地内) 前面道路に対し、建物をセットバックさせて圧迫感を軽減した。また、ピロティを設け中間領域をすることで人を招きやすい雰囲気づくりをした。二方向道路のコーナー部に植栽を設け、周辺環境に配慮し四季を感じられるようにした。
LR1 エネルギー LED照明や省エネ高効率給湯器を採用し太陽光発電を設け、電力消費に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水機能を有する水栓・水洗便器を採用した。躯体と仕上げ材との分離がしやすいよう軽鉄下地を用いることや、PSや配管ピットを設けることで、リサイクルに配慮した。	LR3 敷地外環境 宅内雨水浸透とし、雨水流出抑制している。適切な量の駐車場、駐輪場を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される